

2021年10月1日 日刊建設工業新聞

総合資格らが「建築学縁祭」

総合資格（東京都新宿区、岸隆司社長）らは、東京都新宿区の新宿パークタワーで9月24～26日の3日間、建築設計イベント「建築学縁祭」を開いた。新型コロナウイルスを踏まえオンラインを併用。同26日に「Rookie選」と題し、首都圏の建築学生から募った設計作品の公開講評審査会を行った。最優秀賞は早稲田大学の御巫景祐さんの作品が受賞した。初めての取り組みで来年度以降も継続する予定だ。

学生実行委員会（森田泰正 実行委員長）との共催。同25日にシンポジウムなどを実施。同26日は約350の応募作品から選んだ100作品を建築家が審査し、絞り込んだ10作品を公開審査した。

岸社長は「日頃の成果を発揮して今後の糧になることを願っている」と呼び掛けた。特別顧問を務めた建築家の伊

首都圏学生対象に初の設計イベント

東豊雄氏は「総合資格は卒業設計などいろいろな場面で若い人の建築教育に尽力している。大変ありがたい」と述べた。

最優秀賞の御巫さんの作品は、「10本の帯から生まれる『渚』」2つの町の新しい境界」がテーマ。住宅地と繁華街に挟まれた敷地に、グループ活動を行う「ラーニング・コモンズ」と図書館が入る

最優秀賞は早大・御巫景祐さん

施設を計画した。屋根やスロップになる10本の帯状の構造物で、多様な環境を生み出す案となっている。御巫さんは谷尻誠代表、中川エリカ建築設計事務所の中川エリカ氏、日建設の羽鳥達也氏、東京工芸大学の山本佳嗣准教授が喜びを語った。

公開審査は、総合司会をオランダデザインパートナーズの西田司氏が、審査員を五十嵐淳建築設計事務所の五十嵐淳

御巫さんのプレゼンテーション



ぐゲート」と、大岩樹生さん（法政大学）の「待つ壁」下北沢駅前元小田急線セルフビルドを誘う未完の集合住宅」。総合資格賞は奥田真由さん（法政大学）の「つないでいく、この道で」、ボラス賞は朝長優斗さん（東京都市大学）の「狭小空間と立体的なオープンスペース」が受賞した。

佳作とクリティック賞の受賞者は次の通り。敬称略。

【佳作】

▽池谷琳花（東海大学）▽土江祐歌（早稲田大学）▽岩田理紗子（芝浦工業大学）▽前田琴梨（早稲田大学）▽林泰地（同）

【クリティック賞】

▽五十嵐淳賞Ⅱ芝麻由香（早稲田大学）▽多田脩二賞Ⅱ安西祥大（日本大学）▽谷尻誠賞Ⅱ佐倉園実（芝浦工業大学）▽中川エリカ賞Ⅱ筒井彩加（法政大学）▽羽鳥達也賞Ⅱ田邊琴音（同）▽山本佳嗣賞Ⅱ洲崎玉代（東京大学）。